

上牧町

子育てママの就業支援事業



事業拠点の外観



ワーキングスペース



託児スペース・コミュニティスペース



研修の様子

1 雇用の場の確保に関する課題及び基本的な考え方

- ① 本町における県外就業率（39.0%）、女性の就業率（38.9%）、通勤時間に1時間以上要する男性の割合（46.5%）はいずれも低水準となっており、就労環境を充実させる必要がある。
- ② 本町では、女性が社会で活躍しながら子育てできるまちづくりを目指しているが、住宅地のまちであり、産業もなく、狭い町域（6.14km²）であるため、積極的な企業誘致による就労環境の整備は難しい。
- ③ 子どものそばで安心して働ける環境整備として、テレワークの導入を推進するとともに、ワーキングスペースと託児スペース等を併設した事業モデルの横展開に取り組んでいる。
- ④ 重点分野は「教育・福祉・子育て」

2 取組の概要

子育て期間中の女性が通勤にかかる負担を感じることなく、身近な場所で柔軟な働き方ができる環境づくりを行う。

- ① 事業拠点の整備
 - 子育て女性の働く場となるワーキングスペース
 - ガラス板一枚で間仕切りされた場所で親子ともに安心して過ごせる託児スペース
 - 研修などの場として利用できるコミュニティスペース
- ② 事業拠点の運営
 - テレワークを活用した都市部の仕事
 - リソース管理
- ③ 人材育成・確保
 - 人材育成プログラムの作成
 - 研修・講座等の実施

3 取組の効果 または 苦勞した点や今後の課題

【取組の効果】

- 都市部の仕事の受注により、一定の事業収入を得て自立している。
- 事業に参加した町民で、参加後に2人目以上の妊娠をしたケースが数件ある。

【苦勞した点】

- 事業収入の確保（仕事の受注）
- 人材の育成・確保

【今後の展開】

- さらなる子育て環境の充実を図るため、行政や地域関係者などが連携する「上牧町子育てママ就業支援事業推進会議」を設置。地域のニーズに合わせた事業を協力しながら展開していきたい。

詳しくは 上牧町ホームページ <https://www.town.kanmaki.nara.jp/>